

2022年度 第1四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、表面保護材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

第1四半期

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2021年度	2022年度	前年同期比
売 上 高	10,173	9,965	▲ 208
営 業 利 益	1,571	1,001	▲ 570
経 常 利 益	1,702	1,402	▲ 299
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	858	664	▲ 194

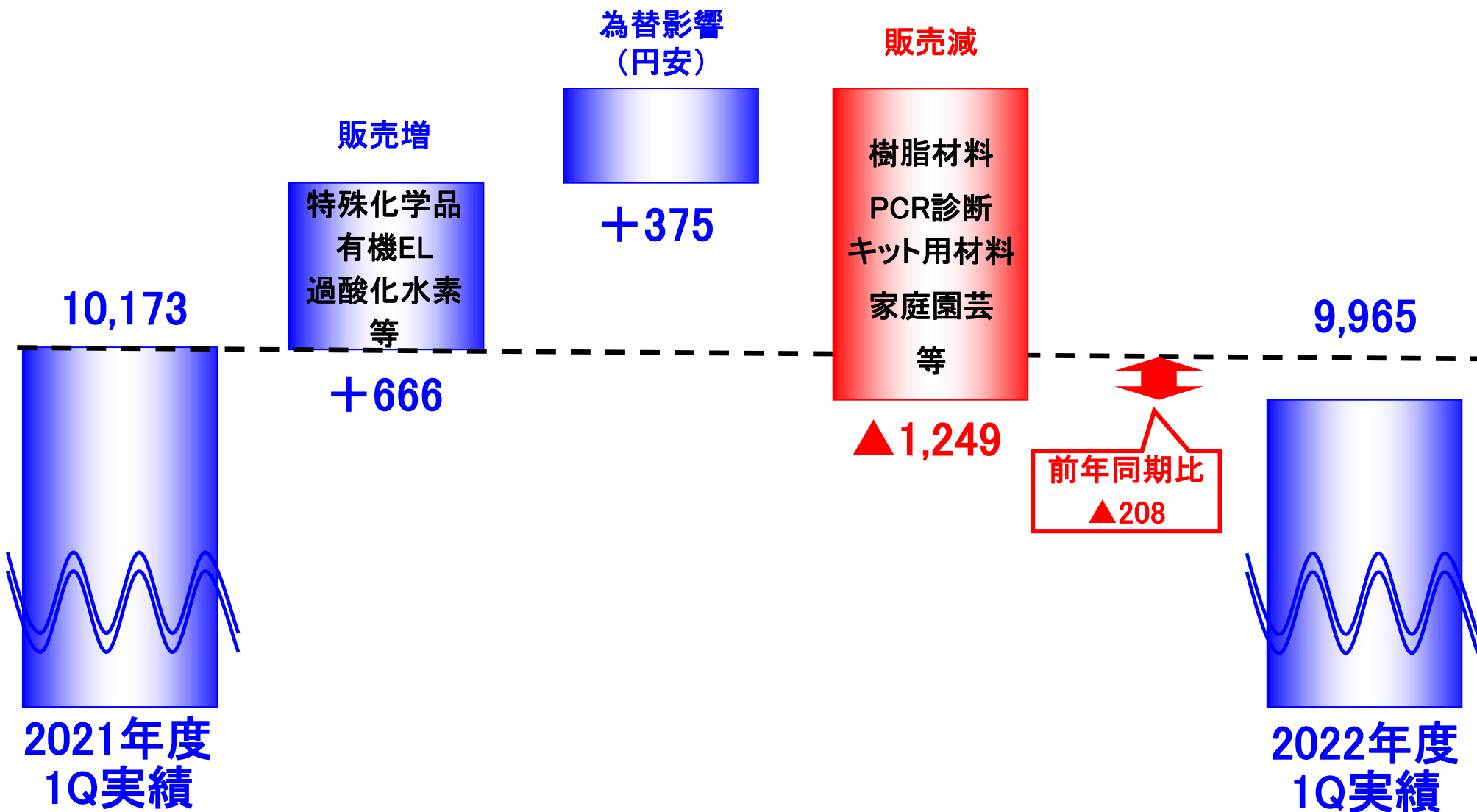
為替レート

\$=109.80円
W=0.0982円

\$=131.26円
W=0.1034円

\$=ドル
W=韓国ウォン

(単位:百万円)



- ・ **売上高**は、基礎化学品、物流関連が増加したものの、機能性色素、機能性樹脂、アグロサイエンスが減少し、208百万円の**減収**
- ・ **営業利益**は、販売費及び一般管理費の増加と、売上高の減少により、570百万円の**減益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の減少により、299百万円の**減益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の減少により、194百万円の**減益**

(単位:億円)

科目	2022年 3月末	2022年 6月末	増 減
(流動資産)	340	355	+15
現預金	109	115	+5
売上債権	124	117	▲7
棚卸資産	93	106	+13
その他	13	16	+3
(固定資産)	324	327	+2
有形・無形 固定資産	226	232	+5
投資有価証券	79	78	▲1
その他	17	16	▲1
合計	664	683	+18

科目	2022年 3月末	2022年 6月末	増 減
(負債)	185	194	+9
仕入債務	47	47	+0
有利子負債	63	72	+8
その他	74	74	▲0
(純資産)	479	488	+9
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	-
利益剰余金	168	173	+4
その他	111	116	+5
合計	664	683	+18

財務指標

- ・自己資本比率 62.3% ⇒ 61.6%
- ・D/Eレシオ 0.15倍 ⇒ 0.17倍

有利子負債 63億円 ⇒ 72億円

現預金 109億円 ⇒ 115億円

第1四半期

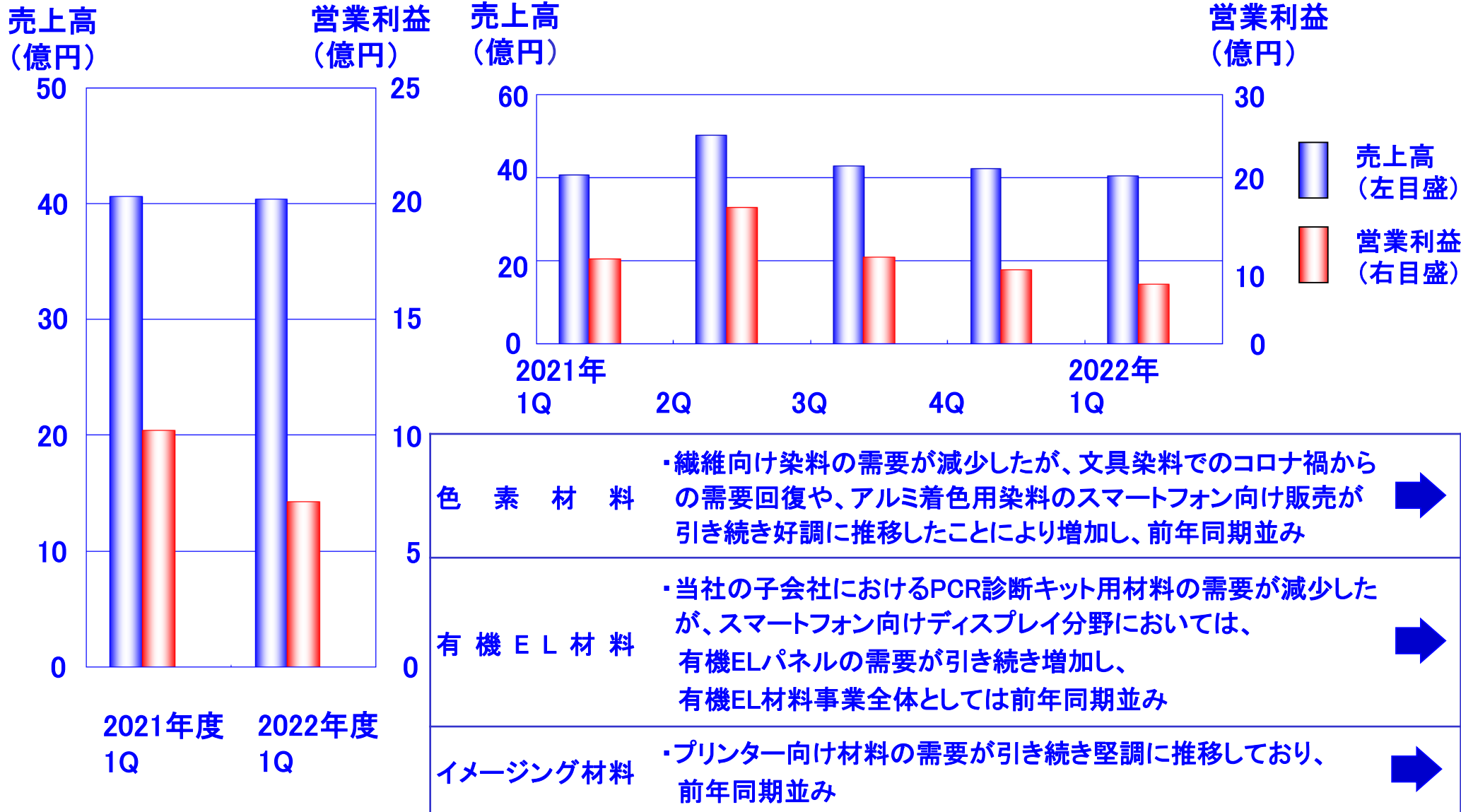
単位：百万円
表示：百万円未満切捨

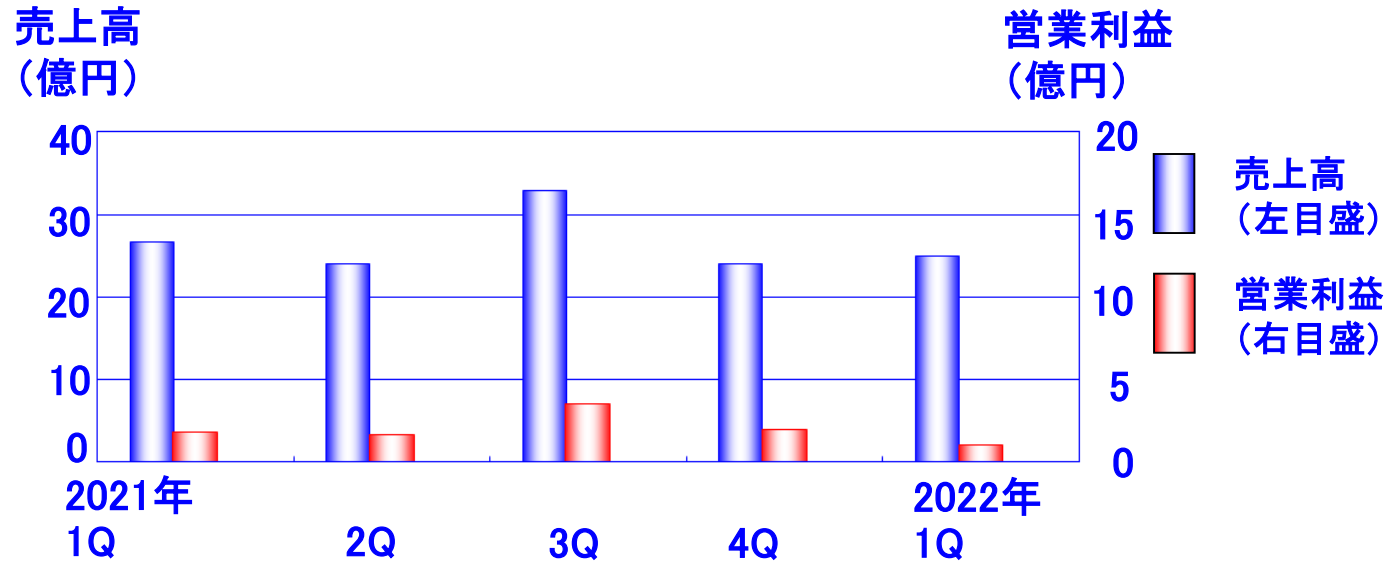
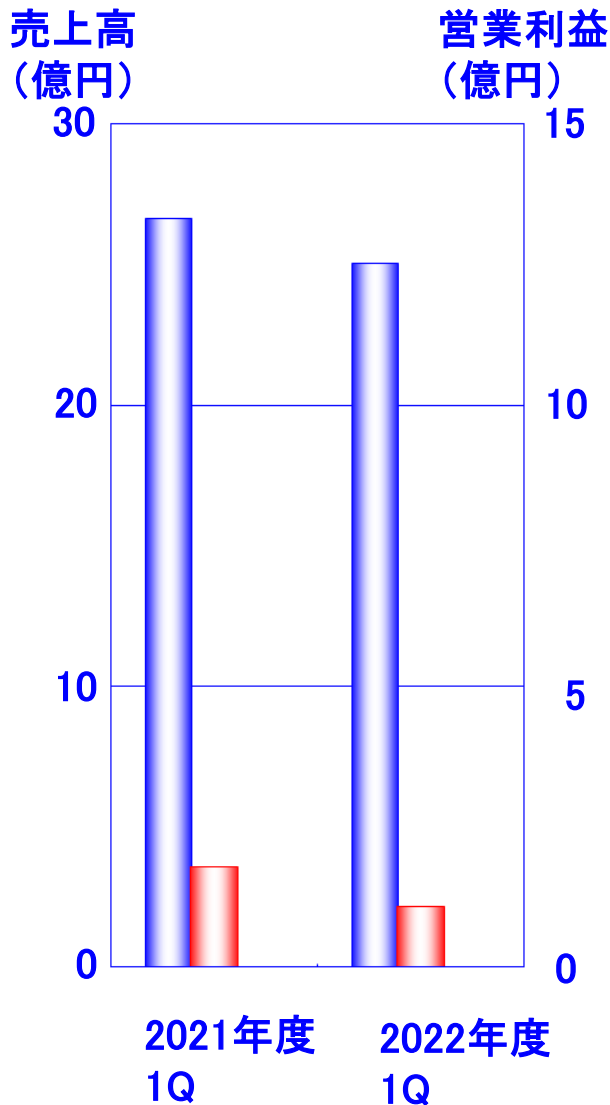
セグメント	2021年度	2022年度	前年同期比
機能性色素	4,058	4,040	▲ 17
機能性樹脂	2,666	2,502	▲ 163
基礎化学品	1,720	1,753	+ 33
アグロサイエンス	1,215	1,144	▲ 71
物流関連	480	510	+ 30
その他	32	12	▲ 19
合計	10,173	9,965	▲ 208

第1四半期

 単位：百万円
 表示：百万円未満切捨

セグメント	2021年度	2022年度	前年同期比
機能性色素	1,021	714	▲ 306
機能性樹脂	178	107	▲ 70
基礎化学品	158	▲ 56	▲ 214
アグロサイエンス	123	154	+ 31
物流関連	96	83	▲ 13
その他	▲ 6	▲ 2	+ 4
合計	1,571	1,001	▲ 570

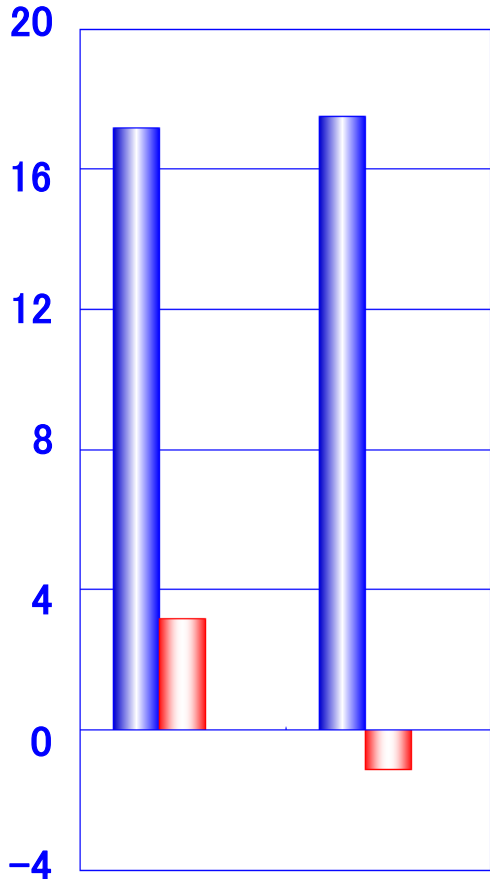




建築材料	・材料販売は堅調に推移し増加したが、大型防水工事の受注減により、減収	↓
樹脂材料	・タイヤ用接着剤の中国でのロックダウン等に伴う需要減少やウレタン原料の販売減少により、大幅な減収	↓
特殊化学品	・医薬向け及び剥離剤向け等が好調に推移したことから、大幅な増収	↑

売上高
(億円)

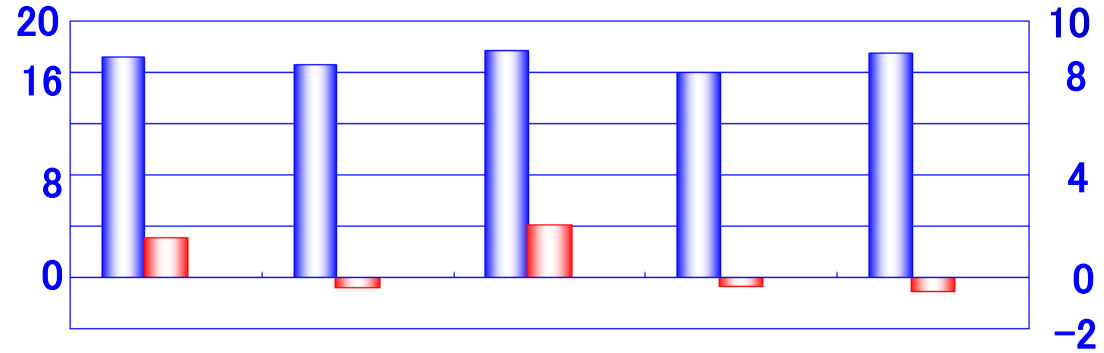
営業利益
(億円)



2021年度 1Q 2022年度 1Q

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2021年 1Q 2Q 3Q 4Q 2022年 1Q

売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

過酸化水素及び誘導品(※) 過酸化水素は、経済活動の回復に伴う紙パルプ向け需要が堅調に推移したことに加え、工業薬品向けで半導体市場を中心に需要が好調に推移したことから、増収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等

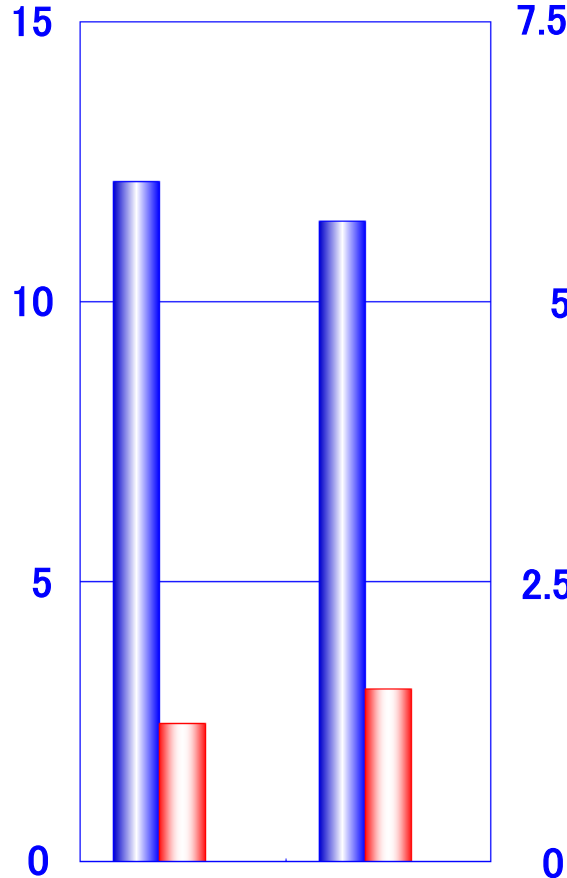


売上高
(億円)

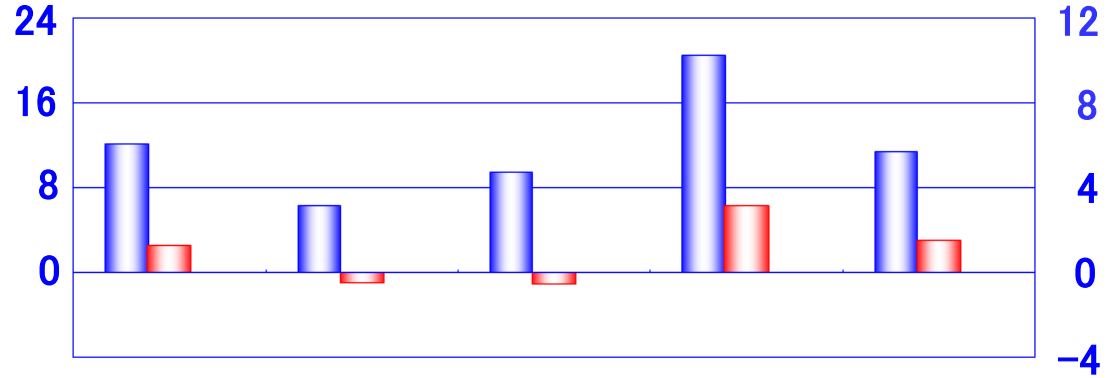
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2021年度 1Q 2022年度 1Q



2021年 1Q 2Q 3Q 4Q 2022年 1Q

売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

アグロサイエンス

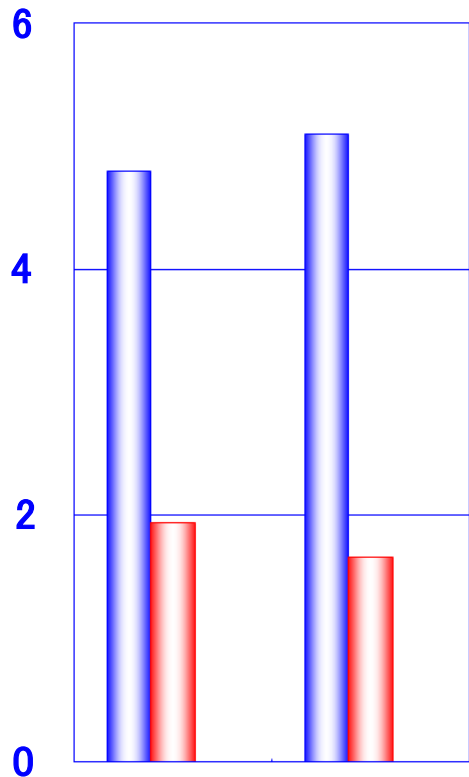
- ・ゴルフ場向け及び農耕地向け除草剤や、殺虫剤向け等は需要が好調に推移したが、家庭園芸向け除草剤は、巣ごもり需要の後退により、減収

売上高
(億円)

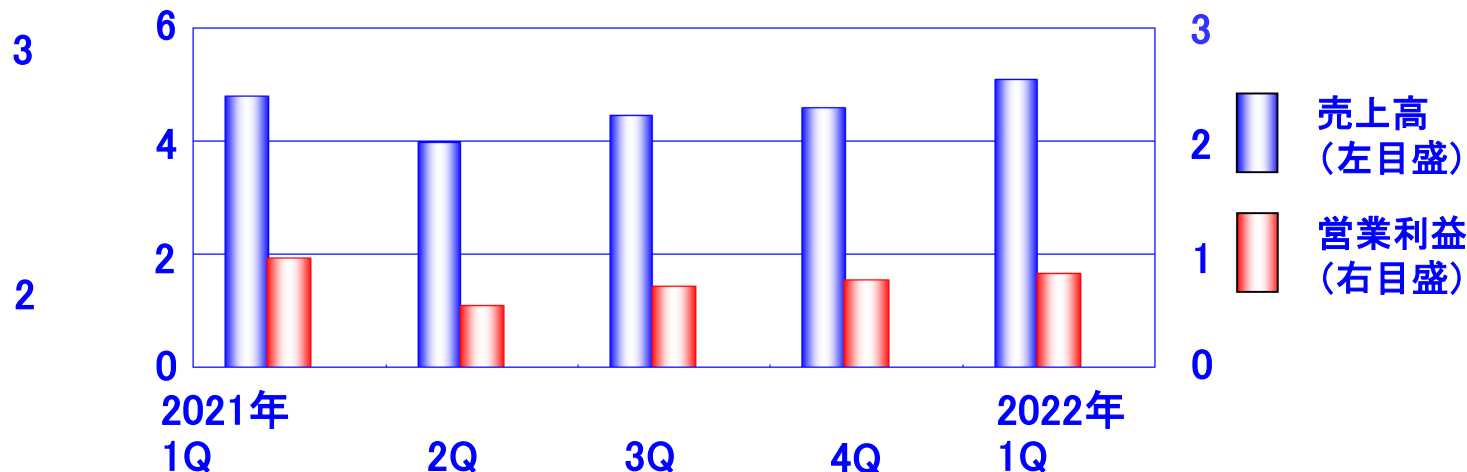
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2021年度 1Q 2022年度 1Q



物 流 関 連 ・国内外での経済活動の回復に伴い輸出の取扱量が好調に推移し、増収